

## 第14回東京外語会ツアー ～秋色の南仏から TGV でパリへ (2010.10.21～28)～

林 義之 (F昭41)

今回初めてこの旅行に参加したのは、憧れの南仏を何としても訪れたかったのと、何度か訪れているとはいえ、仕事で駆けずり回ったパリの街を、ゆっくりと歩いてみたいと思ったからだ。

また、パリ支部の皆さんとの交歓会が、同窓の坂口氏のホテル「シャトー・デ・クロ」で行われるというのも魅力の一つだった。

### パリ経由でニースへ

**10月21日(木)** 成田空港の待合室に総勢28名が集まり、鈴木准高さん(F45)の司会により、団長・神楽川孝子さん(F37)以下全員の紹介があった。

この時点で、フランス国内が年金ストで混乱していることは耳に入っていた。

AF(エールフランス)275便は、538人乗りの大型ジェット機エアバス A380で、定刻の11:50に出発した。

### パリストで遅延・荷物遅れ

同日の17:15に定刻通りパリの CDG(シャルルドゴール)空港に到着(時差-7時間)。ここからハプニングが始まった。空港内は大変な混雑ぶり、ニース行きの便も1時間遅れの19:13の出発となった。

ニース・コートダジュール空港に着いたのは20:30で、機内で30分ほど待たされたうえ荷物も出てくる様子がなかった。到着早々、ストのとぼちりを受けた形だ。止むを得ず、そのままバスでホテルに向かった。22:15ホテル着。荷物はホテル投宿後、夜中の1時に到着し、とりあえずほっとした。

### ニース、エズ、モナコ公園 → ニースへ

**10月22日(金)** ニースは、気温16度で快晴の上天気。窓からニースの海岸と街並みが見える。朝7時までぐっすり眠れたので気分はいい。

### コートダジュールを満喫

午前中は、ニース旧市街のサレヤ広場などで朝市を見学。色とりどりの野菜や果物などが所狭しと並べられていた。憧れのコートダジュールの空気を存分に吸った。プロムナード・デ・ザングレを通り、次に向かったシャガール美術館では、旧約聖書をテーマにした幻想的な絵画やステンドグラスがすばらしかった。

午後は、景勝地エズに向かい、海拔429mの「鷲の

巣」村展望台で昼食。それぞれ、地中海を見晴らしながら「地中海料理」とワインを堪能。昼食後、モナコへ向かい、「大聖堂」や王宮を見学。夕食はそれぞれムール貝やカキなどを楽しみ、ニースに戻った。

### エクサンプロヴァンスからアルルへ

**10月23日(土)** 天候は曇り。朝8時にニースを出発し、3時間弱でセザンヌの故郷エクサンプロヴァンスに着いた。噴水や温泉の多い町だ。早速、セザンヌのアトリエへ。古びたキャンバスやイーゼルなどが興味を引く。旧市街のサン・ソヴール寺院・花市などを見学後、みごとなプラタナスの並木のミラボー通りへ。バスク風チキン料理の昼食後、アルルへ向かう。ゴッホの「はね橋」で全体写真を撮る。

アルルの旧市街に入って、ローマ人の遺跡や「古代劇場」(紀元前1世紀のギリシャ劇場)、「円形闘技場」(1世紀末:世界遺産)などを見学。フォーラム広場では、ゴッホの描いた「夜のカフェ」が残っていて、感慨深かった。サントロフィーム教会などを見た後、アルルのホテル着。

### ポン・デュ・ガール、アヴィニョンからリヨンへ

**10月24日(日)** この日は雨。8:30にホテル出発。途中、ローマ時代の水道橋跡ポン・デュ・ガール(世界遺産)見学。全体写真(下)を撮る。この橋は、高さ49m、長さ275mの石の橋で、1kmにわずか34cmの勾配という。2千年まえの土木技術に感心する。



雨も上がり、10時ごろアヴィニョンに到着。「サン・ベネゼ橋」のたもとで倉知さんご指導による「アヴィニョン

の橋の上で」を皆で合唱。「法皇庁宮殿」を見学後、昼食。その後、ワイナリーで3種類のワインを試飲。グラスに残るワインの「山」が決めてとか。3時間ほど高速道路を飛ばし18:40リヨンのホテル着。

### リヨンからTGVでパリへ

**10月25日(月)** 曇りで寒い。午前中はリヨン観光。北風びゅーびゅー吹くなか、世界遺産の旧市街を散策。リヨンは、人口50万人の大きな町だ。フルビエールの丘のトップにあるノートルダム・フルビエール大聖堂は、マリア信仰の中心地だといふ。フルビエールの丘からはリヨンの街が一望でき、旧市街の路地の「抜け道」トラブールは他人の建物の中を自由に行き来できる面白い道だった。300以上あるという。

昼食はル・ノールでリヨンの郷土料理。田舎風テリーヌにクネル(魚のすり身)。ここで、私と加子隆一郎さんの誕生祝いがあった。ありがとうございました。

### [TGVで席がない!]

14:05 TGVでリヨンパールデュエ駅出発、いざ、パリへ、と思いきや、あれれ、我々の指定座席はすでに他の乗客で全て占拠されていた。列車が動き出して、添乗員の大上さんや鈴木惟高さんがもうぜんと抗議するものの全く動ぜず、車掌がきてもものすごい剣幕で反論している。実は彼らも、ストの影響で運休になった1本前の列車の権利を主張していたらしく、彼らもストの被害者だった。車掌の強い指示で何とか大方のメンバーは座ることができた。2時間ほどで、15:55パリに到着。パリ在住の沼田さんが出迎えてくれた。パリは暖かかった。

### [シャトー・デ・クロのパリ支部との交流会]

17:45~22:00 パリ・リヨン駅からバスで1時間。坂口功一氏(F44)経営のホテル「シャトー・デ・クロ」でパリ支部との交流会が開かれた。交流会には、坂口氏ご夫妻の外、現地から沼田睦子(F44)パリ支部長、牛山紀夫(D42)元高島屋欧州支配人、吉澤雅樹(F平11)BNPパリバ勤務、及び大阪外大・咲耶会から浦田良一(大外大 F38)在仏日本人会会長(元日立フランス社長)が出席された。すばらしいお庭を散歩した後、交流パーティーに移った。

初めに、神奈川孝子団長が外語会理事長のメッセージを読み上げ、外語会・外語大の現況をあらためて認識していただいた。また、坂口氏、沼田支部長から夫々興味深いご挨拶をいただき、さらに、浦田氏

(咲耶会)からは、長年パリに在住している日本人の心情などを吐露していただいた。この後、坂口氏選りすぐりの特上のブルゴーニュの白と赤ワインをいただき、おいしいお料理を堪能させていただいた。宴たけなわになって、夫々、昔話の披露となり大いに盛り上がりました。坂口様ご夫妻には大変お世話になり、沼田さんにも大変なお気遣いをいただきました。在仏の皆さまには心から御礼申し上げます。23:10 ホテル到着。



### パリ~自由行動~

**10月26日(火)** 曇りのち晴れ。各自、自由行動で、オブションでモンサンミ歇尔やルーブル美術館、オルセー美術館、オペラ鑑賞、セーヌ川クルーズなどへ三々五々出かけられた。

### パリ~自由行動~解散式~帰国の途へ

**10月27日(水)** 曇り。出発まで各自、自由行動。パリ駐在経験者は往時の滞在場所を偲んだり、また、再び美術館へ馳せ参じる者など夫々自由にパリを満喫した。私は、デパートでお土産の買い物をした後、待望の街歩きを楽しんだ。

18:30レストラン「ピザ・ピノ」で解散式が行われた。沼尻さんご夫妻はミュンヘンへ回り、26人が元気に集まった。

23:35パリ出発 AF278便→成田へ。

**10月28日(木)** 雨。18:00 成田に無事到着。

[最後に] 以上で、往復約2万キロの8日間の旅は終わった。フランスの伝統と文化にたっぷり浸れた8日間だった。神奈川団長はじめこの旅を企画された幹事の皆さま、そして在仏の坂口様ほか関係者の皆さまに改めて感謝の意を表します。